

総合評価落札方式（森林土木工事の調査・設計等業務）に係る評価項目・評価基準及び評価配点

評価項目		評価基準	配点	得点	小計
予定技術者の経験及び能力	保有する資格、経験	技術士（森林土木部門に限る。）を保有している。	5	5	24
		林業技士（森林土木部門に限る）を保有している。	3		
		その他の資格又は経験（業務の履行に有用なもの）を保有している。	1		
	同種業務の実績 過去15年間における同種業務の実績	国の機関の業務の実績がある。	5	5	
		都道府県発注業務の実績がある。	3		
		市町村発注業務の実績がある。	1		
		同種業務における従事経験はあるが、管理技術者としての経験なし。	0		
	過去に担当した業務の成績 過去3年間に同種業務の業務成績評定における管理技術者の評定点の平均点	80点以上	4	4	
		75点以上80点未満	3		
		70点以上75点未満	2		
		70点未満	1		
	技術者の選任性 管理技術者の手持ち業務（森林整備事業以外を含む1千万円以上の業務）※国の機関以外も含むすべての業務が対象となり、TECRISで確認し、記載もれがあれば加算して評価	2件以下又は契約総額が3千万円未満	5	5	
		3～4件又は契約総額が5千万円未満	3		
		5件以上又は契約総額が5千万円以上	1		
	技術者の継続教育（前年度までの3年間の取組状況）	森林分野の取得単位数が20ポイント以上	5	5	
森林分野の取得単位数が20ポイント未満		3			
森林分野以外の取得ポイントがある。		1			
継続教育の実績がない。		0			
企業の実績能力信頼性	低入札調査価格等の実績（近畿中国森林管理局管内の実績） 過去2年間に低入札調査価格又は品質確保基準価格対象業務の有無について	対象業務の受注実績なし。	2	2	15
		対象業務の受注実績が1件ある。	1		
		対象業務の受注実績が2件以上ある。	0		
	業務成績 企業の過去3ヶ年間の業務成績の平均点	80点以上	4	4	
		75点以上80点未満	3		
		70点以上75点未満	2		
		70点未満	1		
	災害発生時の活動実績（前年度までの2年間における実績）	近畿中国森林管理局と事前公募に基づき締結した災害復旧調査業務の受注実績あり。	2	2	
		近畿中国森林管理局に置いて事前公募に基づく「災害復旧調査業務委託対象者」に選定されているが受注実績なし。又は、他の森林管理局長等と事前公募に基づき締結した災害復旧調査業務（災害協定等に基づく調査業務を含む。）の受注実績あり。	1		
		近畿中国森林管理局において事前公募に基づく「災害復旧調査業務委託対象者」に選定されていない。	0		
	優良業務表彰（過去10年間）等	農林水産大臣または林野庁長官からの表彰実績あり。	2	2	
		森林管理局長からの表彰実績あり又は過去2年間において森林管理局長が認定する調査等業務（大規模災害）の受注実績あり。	1		
		実績なし。	0		
	信頼性（近畿中国森林管理局管内の実績）過去2年間の不誠実な行為の有無について	指名停止措置等の不誠実な行為がある。	-3	0	
		指名停止措置等の不誠実な行為がない。	0		
ワーク・ライフ・バランス等の推進に係る認定の取得状況等	えるぼし、プラチナえるぼし、一般事業主行動計画の策定、くるみん、トライくるみん、プラチナくるみん、ユースエールのいずれかの認定を受けている。	1	1		
	上記に記載されている認定等を受けていない。	0			
賃上げ実施の表明 事業年度又は暦年において前年度又は前年比で増加させる旨の表明書	表明書の提出あり。	4	4		
	表明書の提出なし。	0			
	前年度賃上げ未達成	-5			
業務の実施方針	業務の理解度 保安林制度、森林保全整備事業、業務の対象となる地域・個所の特性、業務の目的・内容について	業務目的等を十分理解し、実施方針に的確に反映している。	5	5	10
	業務目的等を理解し、実施方針に概ね反映している。	3			
	業務目的等の理解が十分でなく、実施方針も見直しが必要である。	0			
実施手順の妥当性 前提条件の把握と、検討内容・手法等の提案の的確性・妥当性・具体性	前提条件等を把握した上で、十分かつ幅広い検討を行い、妥当な実施手順である。	5	5		
	前提条件等を把握した上で、必要な検討を行い、概ね妥当な実施手順である。	3			
	前提条件等の把握や必要な検討が不足している。	0			
技術提案	総合的なコスト 対策工や調査時におけるコスト及びライフサイクルコスト削減	長期的な視点かつ新技術を踏まえ、実現性のある提案をしている。	5	5	15
		必要な知見を有し、概ね実現性のある提案をしている。	3		
		コスト削減意識が低く、検討結果も一般的・抽象的である。	0		
	工事目的物の性能・機能又は調査精度 ①工事目的物や調査・観測機器の初期性能の持続性、耐久性等の性能・機能への対応 ②調査精度の維持・向上のための取組み	工事目的物の性能等を十分理解し、現地実態を踏まえた高度な提案やそれを実現するための方策を提案している。	5	5	
		工事目的物の性能等を理解し、概ね現地実態を踏まえた提案や精度向上対策を提案している。	3		
		工事目的物の性能等に対する理解や現地の実態把握が不足し、精度確保のための検討も不十分である。	0		
	社会的要請 ①対策工や調査時における水質汚濁、生物多様性、景観保全等、環境の維持に対する取組 ②対策工や調査時における現地発生材利用や木材の利用、省資源・リサイクル対策への取組 ③調査時における安全対策の取組 ④調査時における地元関係者及び対策工事施工業者との調整	施工個所の位置付け等を十分理解した上で、自然環境、既設建造物の保全、現地発生材の活用、等十分検討し、提案をしている。	5	5	
		施工個所の位置付け等を理解し、概ね必要な検討・提案をしている。	3		
施工個所の位置付け等の理解が不十分であり、必要な検討・配慮が不足し、画一的な提案となっている。		0			
合計				64	